

広域支援センター活動評価指標案

※ 取りまとめ方法

- ・ 広域支援センターのあり方検討ワーキンググループで検討された4つの「全ての広域支援センターが果たすべき機能・役割」について、活動評価指標項目の案をワーキングメンバーに e-mail にて確認をした。
- ・ 8ヶ所の広域支援センターより回答を得た。
- ・ 回答内容より、経年的に実施し得る内容を採択した。
- ・ 回数を評価指標とした場合、県下一律の基準設定による評価は難しいという意見もあった。このことから、数値による評価は各広域支援センターが考える地域の解決すべき課題に対して、必要と考える取り組み内容や目標とした実施回数等（事業計画）に対する実行状況で考えるのが妥当ではないかと考えた。
- ・ また、連絡協議会の在り方を全支援センターにてすり合わせて連絡協議会で最低限達成すべき事項が何かを検討すべきではないかとの意見もあった。しかし、地域特性等からその基準を設定することも難しいと考えられ、このことについても各広域支援センターが実施すべき連絡協議会を事業計画として定め、それに対する評価とすることが適当ではないかと考えた。
- ・ 必須4項目以外にも地域の現状に即して活動すべきことがあることから、活動評価指標として「その他の活動状況」を設定すべきとの意見があった。

※ 以下、ゴシック体は「全ての広域支援センターが果たすべき機能・役割」とされている項目。明朝体はそれに関する活動評価指標案。

1. 市町村、職能団体等の地域リハビリテーション関係機関からなる「連絡協議会」の開催を通じた地域リハビリテーション関係機関相互の連携支援体制の構築

(ア) 地域リハ連絡協議会開催の有無と協議内容及び回数。

(イ) 地域リハ連絡協議会構成員及び団体等に対する意識変容の把握。

(ウ) 地域リハ連絡協議会以外の他団体との連携推進に資する会議等の開催の有無と協議内容及び回数

(エ) 職能団体等との協働による事業展開の有無とその内容及び回数

(オ) リハ専門職のネットワーク作りや医療と介護の連携を推進するための活動への取り組み状況

2. **地域包括ケアの推進に向けた市町村への事業協力**
 - (ア) 市町村事業との協力の有無及び事業内容や回数
 - (イ) 地域包括ケア推進に係る市町村開催の会議への関与状況
 - (ウ) 地域リハの現場と行政機関との窓口機能の設置と活動状況

3. **リハビリテーション専門職の在籍していない地域リハビリテーション関係機関に対する相談支援**
 - (ア) 地域包括支援センターや障害者施設等からの相談支援窓口の設置状況と相談内容及び件数。その結果。
 - (イ) 地域リハ資源の把握に関わる活動状況及びその結果。

4. **研修会等の実施を通じた地域リハビリテーション関係機関従事者の協働促進**
 - (ア) 地域の様々な職種や人材に対する情報交換の実施の有無及び回数
 - (イ) 医療介護職等への研修機会の提供有無及び回数
 - (ウ) リハ専門職への情報発信事業の実施の有無及び回数

(文責：田中)